

通信制高校生の医療費支給を

すすく医療費支給について



遠藤 正信 議員

命社会で自立しようとしているわけなので、当初予算の医療費助成事業費として何とか加えていただきたい。

保健福祉部長

近年、通信制高校の整備が進み、進学者が増加傾向にある。高校進学率も97から98%に推移している現状を考慮すれば、高校生相当年齢である18歳到達の年度未まで保護者の養育下にある児童生徒すべてを対象とすることを検討すべきと考える。

議員

いつごろの計画になるか。ぜひ何とか推進していただきたい。市長答弁を求める。

市長

同じ高校生には変わりない。この不公平感を是正すべきと考える。通信高校生だけでなく、その他にも就職、在宅、専修学校に通っている子どもたちもいる。公平性という面でも来年度から実施していきたい。

議員

すばらしい答えである。父兄の方が安心して、常総市に住んでいたとき、本当に住みやすい市である、こんなふうに言っていただけのような施策を出してもらいたい。

議員

通信制といっても、全日制と同じように通い、かつ授業も受けられ、進学指導もしている。せっかく向上心に燃えて一生懸

保健福祉部長

医療福祉費支給及びすすく医療費支給のいづれも通信制高校生は対象外の取り扱いとなっている。

議員

すすく医療費支給について、市の医療福祉費支給に関する条例で、通信制高校生について尋ねる。

□ 殿 質 問 JOSOSHIGIKAIDAYORI JOSOSHIGIKAIDAYORI JOSOSHIGIKAIDAYORI JOSOSHIGIKAIDAYORI □ 殿 質 問

子どもたちへの礼儀作法の教育を

市内の子どもたちにおける礼儀・作法教育について



寺田 洋 議員

が増えた、いじめを減らす効果が期待できそうといった報告が数多く寄せられ、また多数のメディアに取り上げられている。このマナーキッズプロジェクトを検討してみたいかがか。

教育長

子ども達の活動する学校の色々な場面で、是非そのすばらしい力を貸してもらえれば良かったら、本当にうれしいことだと思います。よろしくお願ひしたい。

議員

モデル校をつくり、実施していただきたい。小学校では、道徳の時間なりに年1回か2回15分ほど実施してみるとか、家庭教育学級で実施してみるのも面白い。教育長いかがか。

教育長

学習機会の選択肢が増えるということは、うれしい、ありがたいことだと思ふ。

議員

これからは子どものマナー、礼儀作法は必要になってくる。常総市は本当にマナーのいい子どもばかりで、市出身者はみんな礼儀が正しいという特徴がでて面白い。市長いかがか。

市長

前向きに検討し、積極的に行っていきたい。